

ノロウイルスの消毒

<消毒のポイント>

- 次亜塩素酸ナトリウムや加熱(85℃以上で1分以上)による消毒が有効です。
- 家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。
- アルコール系消毒薬による消毒は、効果が不十分です。

<塩素系漂白剤を使った消毒液の作り方>

原液 → 市販の塩素系漂白剤の塩素濃度は、約5%です。

塩素濃度が0.02～0.1%になるようにして使用します。

500mlのペットボトルを用いて作る場合

0.1%（塩素濃度 1000ppm）消毒液	0.02%（塩素濃度 200ppm）消毒液
○便やおう吐物で汚染された場所（床・トイレなど）の消毒 ○おう吐物などの廃棄（袋の中で廃棄物を浸す） ○汚染された衣類のつけおき消毒	○調理器具、食器などのつけおき消毒 ○ドアノブ、手すり、蛇口など直接手で触れる場所の拭き取り消毒
$10\text{ml} \times \text{約}5\% / 500\text{ml} = \text{約}0.1\%$  500mlの水道水に、 ペットボトルのキャップ 2杯（10ml）の原液	$4\text{ml} \times \text{約}5\% / 1000\text{ml} = \text{約}0.02\%$  1000mlの水道水に、 ペットボトルのキャップ 1杯弱（4ml）の原液

注意：○次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）の使用にあたっては、「使用上の注意」を確認しましょう。

○次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）は金属腐食性がありますので、消毒後の薬剤の拭き取りを十分に注意してください。

○皮膚への刺激が強いので、直接触れないようビニール手袋などを使用してください。

○調理器具等は洗剤などを使用し十分に洗浄した後、次亜塩素酸ナトリウム（塩素濃度200ppm）で浸すように拭くことでウイルスを失活化できます。

○消毒液を保管しなければならない場合は、消毒液の入った容器は、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきりと明記して保管しましょう。